



平成27年度 ともがき事業総括

介護保険改正による介護報酬の引き下げがあり、通所介護事業、訪問入浴事業は介護報酬額が減収となった年度であった。その為、年度当初から26年度に比べて、各事業所とも稼働状況による収入や、利用者に迷惑の掛からない範囲での水道光熱費等の支出を意識しながら事業を推進してまいりました。また、各事業所の情報交換や協力体制をとれるように事業推進の為の会議を毎月継続して行い、各事業所の職員配置についても協力できるようになりました。27年度はこれから先の年度に対する骨組みの構築の年となったと考えております。

通所介護事業では利用者に継続して利用していただける様に、日曜行事による外出や、誕生月外出等、様々な外出を企画、実施してまいりました。ともがきを利用される方の多くが、パワーリハビリテーションを実施しており、ともがきを利用して機能訓練を実施することで、外出することを目標にしていただければと考えました。外出に参加された利用者の多くが楽しかった、また出かけたい等お話を頂いており、その結果が、今回の稼働率の維持に繋がったととらえております。今後も楽しみを持ちながら利用して頂き機能訓練を行うことで利用者の生活の質の向上に繋がるように支援をしてまいります。

訪問入浴事業では稼働が伸びました。26年度に行った広報活動が芽を出し、訪問入浴事業について、広く知っていただけてきているのではないかと感じております。今後も広報活動を重ねて実施してまいります。又、稼働が伸びたことによる、職員配置や、サービスの質の維持等、課題が出て来ている為、通所介護事業と協力をしながら、改善に取り組んでまいります。

居宅介護支援事業所では市外にできたサービス付高齢者住宅や、有料老人ホーム等の影響を大きく受けた年度でありました。泊りの施設が多くできたことなどが要因で在宅で生活をされていた方が、入所に流れてしまったことが原因ととらえております。今後は広報活動と共に、27年12月より開始した介護予防事業の受託事業の仕組み作りをおこない稼働に繋がれるように取り組んでまいります。

財政面については、前年度に比べ、通所介護事業、訪問入浴介護事業共に収入を伸ばした結果となりました。年度を通して、支出の削減に努めた結果、ともがき全体として黒字となりました。今後の課題としては、施設、物品の老朽が進んでいる為、修繕や、物品の買換えなど大きな支出が予測されます。計画的に修繕、購入が行えるように取り組んでまいります。